

建築人

2024
6

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.720





今月号から、写真家の喜多章氏が撮影された大阪の街並み風景「大阪浪漫」を掲載していきます。

40年前の昭和時代の終わり、世の中がバブルと呼ばれる好景気に突入する頃、都心部では大型開発が始まりました。その後40年の歳月は、大阪の街並みを徐々に変えて都市の成長を遂げて来ました。

変わるもの、変わらぬものがあり、40年前と現代の風景を重ねて頂き、見る人により異なる往時の記憶や思いを馳せて頂けたらと思います。

第一回は、大阪マルビルを中心とした「大阪駅周辺」です。大阪駅北ヤードや中央郵便局、阪神百貨店の様子が伺え、ヒルトンホテルが工事中であり、梅田DTタワーの敷地は、駐車場とバラック住宅が残っています。この境界は第二次世界大戦後、不法占拠による闇市が開かれ、梅田の大地主であった吉本氏による不法占拠を取り除き、大阪マルビルを建設しました。

大阪浪漫

(1984年10月・大阪駅周辺)

写真・文 喜多 章

今から40年程前の事、1983～1986年に渡り大阪の建築や風景・町の表情を撮影し、当時中之島にあった大阪府立現代美術センターで写真展も開催した。思い起せば撮影を始めた動機は、テレビや雑誌などで目にする街並みの殆どは東京が中心で、大阪の風景を目にする機会が少なく・ならば自身で撮ってみようを始め、当時はフィルム時代だった事もあり、どうせ撮るならピシッと撮りたいと4×5サイズのフィルムカメラを担ぎながらアチコチ徘徊し撮影した。撮影者の想いは常にそれぞれ異なるが、写真の持つ最大の特性は記録する力だと思っている私。当時の風景に今出逢う事は叶わないが、写真では再会出来、様々な事を思い出す魅力がある・この度の掲載写真は当時撮影した4×5のポジフィルムをスキャンニングしてデータ化し印刷したものです。

▼略歴

写真家

1949年京都市生まれ

1980年よりフリー

日本写真家協会会員

▼主な著書

「大爆発日本の祭り」・「京の意匠Ⅰ・Ⅱ」

「都市と建築の美学イタリアⅡ・Ⅲ・Ⅳ」

「初めての茶室」・「金沢の手仕事」等

▼写真展等

柳生への道・大阪ロマン・息づく建築・群れ・茶室

ゴーストタウン・大爆発日本の祭り・村野藤吾×仕事痕跡

大震災町の変貌全記録・33-44裸婦・人間曼荼羅

居場所・花・ご近所桜・立ち飲みや徘徊・四季の記憶

Water水H2O・視感：国宝建築・旧摩耶観光ホテル

あの頃の京都の空は広がった

▼受賞歴

1989年 作品「群れ」で26回太陽賞受賞

建築人

2024.06 No.720

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「OMO7大阪 by 星野リゾート」2021年

第42回 大阪都市景観建築賞 緑化賞/建築サイン・アート賞 受賞作品

設計：基本構想 日本設計+東 環境・建築研究所

設計監理 日本設計

内装デザイン 東 環境・建築研究所

湯屋デザイン 岩田尚樹建築研究所

ランドスケープデザイン オンサイト計画設計事務所

施工：竹中工務店・南海辰村建設共同企業体

撮影：稲住写真工房(表紙)・ナカサアンドパートナーズ(裏表紙)

当計画は大阪を代表する観光地「新世界」、日雇い労働者の街「あいりん地区」に挟まれたディープなエリアに建つホテルである。新今宮駅側に設けた緑化広場の背景に膜材によるファサードをデザインし、土地の記憶を刷新し、明るい都市景観の創出を目指した。

2 大阪浪漫

4 Gallery 建築作品紹介

「デイサービスあぶり都塚」

設計：PPI計画・設計研究所

施工：中川企画建設

「十和田ビーフプラント」

設計：PPI計画・設計研究所

施工：丸井・田中・福萬 建設共同企業体

「楠葉の家」

設計：大西憲司設計工房

施工：西友建設

8 第67回大阪建築コンクール入賞発表

12 動静レポート

13 Topics

14 Information

16 News of Note

18 記憶の建築

「ハヶ岳美術館」1979年

最晩年の公立美術館に結実した小宇宙 / 松隈 洋

建築人 No.720 2024年6月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：石上芳弘 梅田武宏 荻窪伸彦 河合哲夫

大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 村上栄司 茂龍一之 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和6年6月1日発行

発行人：会長/岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

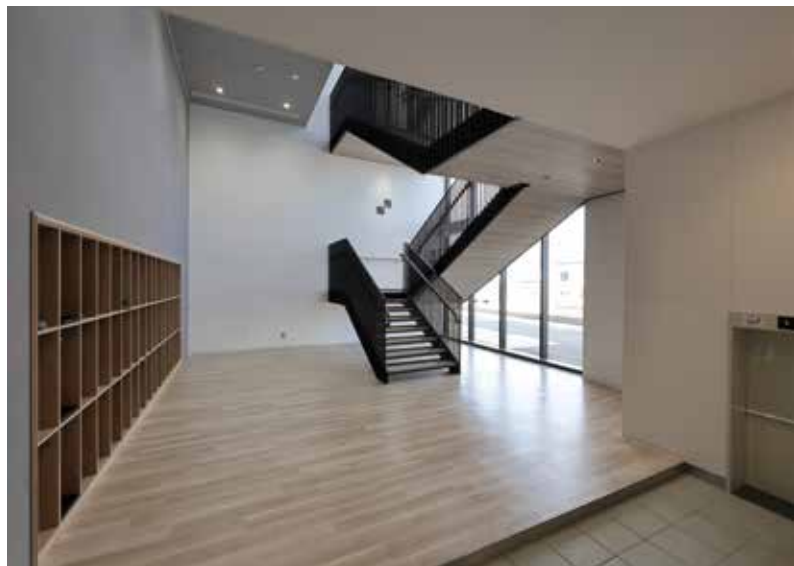
tel. 06-6947-1961



八尾南市域でお年寄りの終の棲家を展開してる『あぶり』が
デイサービスのあり方を問いかけた施設である。
合言葉は『ようこそあぶり』。デイに預かる介護施設の通念で
はなく、自ら訪れることがワクワクするようなお年寄りのテ
ーマパークを目指した。
エントランスを抜けると、木軸組の拡がりある天井の「と
おり間」を介して、「健」(リハビリテーション)、「愉」(食とリク
リエーション)、「寛」(温浴と湯冷まし)の3つのテーマゾ
ンの顔が面している。
さらに「ヒーリング」「シュミレーションゴルフ」を加えた5
つの勾配屋根の群となった外観が構成され、緑豊かなデッキ
を通して戸外・戸内へと結びついている。
ここは、新しい時の流れと新しい友達との触れ合いの発見
の場となっている。

(内田善久、津田空輝)

所在地：大阪府八尾市
用途：デイサービス
竣工：2024.02
構造規模：木造一部RC造
平屋建
敷地面積：2,622.57㎡
建築面積：840.18㎡
延床面積：840.18㎡
写真：とらいあんぐる



八甲田山の冠雪を望む十和田市域の農地を転用して、対米・対EU輸出認定を目指した食肉センターが建設された。

地域の畜産振興における基幹施設となるため、高度な衛生基準を満たすよう設計段階から生産設備メーカー・衛生検査所も参画して検討を行った。

エントランスの外壁の特徴的な赤と青はコーポレートカラーを模した配色とし、この施設の象徴となるように、その他の外壁色をモノトーンとした。

また、食肉センターの閉鎖的なイメージを払拭するために、開放的な吹き抜け空間や内部の共用部は、木調の温かみのある仕上げとしている。

工場で利用する井水を活用した空調や融雪設備を設けて環境負荷低減に取り組んでいる。

(小城慎吾、初井雅弘)

所在地：青森県十和田市
 用途：食肉センター
 竣工：2024.01
 構造規模：鉄骨造
 2階建
 敷地面積：21,521.02㎡
 建築面積：6,088.22㎡
 延床面積：7,863.86㎡



敷地は枚方市北部の閑静な住宅地に位置する。曾祖母が住んでいる住宅を建て替えて、別々に住んでいる祖母と娘家族、曾祖母の四世代同居の住まいである。計画は敷地が道路から70cmの高低差があり、曾祖母が車椅子の生活の為、敷地南側の端にスロープを設け、1階に配した曾祖母の寝室までバリアフリーとした。街との繋がりが希薄な周辺環境に対し、スロープ横に石積みの階段と、石張りにした駐輪場を設け、周りにアオダモ・ヤマボウシ・イロハモミジの高木と、ツツジなど花の咲く低木を足下に植えた。開放的なアプローチが街と繋がりを、目を楽しませ、道ゆく人にも心が和むようにした。又、散りばめられた庭の木々や草花などによる季節の移ろいや、光や風など自然を感じられ、世代の違う家族がお互いを想い合い、楽しく気持ちよく暮らせる住まいを考えた。

所在地：大阪府枚方市
用途：専用住宅
竣工：2024.03
構造規模：木造2階建
(在来工法)
敷地面積：248.86㎡
建築面積：124.08㎡
延床面積：230.03㎡
写真：福澤昭嘉

2024年 「建築人賞」作品募集

「建築人Gallery」掲載作品は 『建築人賞』の候補作品です。

公益社団法人大阪府建築士会は、会員サービスの一環として会報誌「建築人」を毎月発行しています。本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布し、発行部数は約3,000部です。「建築人」の誌上で「Gallery」の建築作品紹介コーナーを設け、現代建築の様相を反映できるものとして好評を博しており、毎年1月号～12月号のGalleryに掲載された作品が「建築人賞」の審査対象になります。

「建築人賞」は2009年に創設され、個人の審査委員長により選考し、表彰式は翌年5月の本会の定時総会で執り行われます。「建築人賞」「同賞新人賞」「同賞奨励賞」「同賞佳作」があり、「建築人賞」「同賞新人賞」の設計者には記念品が授与され、各賞の建築主、設計者、施工者にはそれぞれ賞状が贈られます。ぜひ本誌に皆様の建築作品の掲載をお願いいたします。



建築人賞



建築人賞新人賞



佐久間 靖 (ガラスアーティスト)

1971年 大阪府高槻市生まれ
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業
1997年 関西ロケレールプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

「建築人」Gallery 掲載要項

■ 掲載概要

1頁カラー、写真4点程度、説明文300字程度

■ 掲載事項

- ・建築主、設計者、施工者、協力会社
- ・所在地、用途、竣工年、構造規模、敷地面積、建築面積、延床面積

■ 掲載料

110,000円(本体100,000円+消費税)

※1 初回割引 88,000円(本体80,000円+消費税)

(過去10年間で設計者及び施工者がGalleryに掲載されていない場合が対象です)

※2 若手初回割引 55,000円(本体50,000円+消費税)

(※1を満たす方のうち、40歳以下かつ建築設計事務所を主宰されている方が対象です)

■ 問合せ・申込み

公益社団法人大阪府建築士会事務局 担当:母倉

e-mail: info@aba-osakafu.or.jp TEL: 06-6947-1961 FAX: 06-6943-7103



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社「日経アーキテクチャ」編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰
2023年～ 早稲田大学芸術学校非常勤講師

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞

奨励賞

■渡辺節賞部門 渡辺節賞

壊と家
IIS/IIK 堺新事務所
エア・ウォーター健都事務所
箕面船場阪大前駅エントランス
箕面の家
しらさぎ子ども図書館－詩の森－

斉藤智士
森田昌宏・越野達也・木南達也
小幡剛也・平岡健太郎・河崎菜摘
前田茂樹・中西富仁広
本岡一秀・伊藤祐紀
湯川晃平

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

募集範囲

2018年1月1日から2023年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

* 建築確認申請不要物件は完了検査済証不要

* 竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない

建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

完了検査済証発行日現在39歳以下

審査委員会

委員長 橋爪紳也 (大阪公立大学研究推進機構特別教授)

委員 浅尾 宏 (大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室室長)
※50音順

根本哲夫 (奈良女子大学教授)

榎田洋子 (南桃李舎代表)

山本麻子 (大阪工業大学特任准教授)

審査

応募数 大阪府知事賞部門 35点

渡辺節賞部門 11点

審査委員会 4回

●第1次審査

2月20日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門10点、渡辺節賞部門4点を選考

●第2次審査

2月26日、3月13日 第1次審査通過作品について現地審査を2日間実施

●最終審査

3月13日 第2次審査終了後に実施
大阪府知事賞部門：大阪府知事賞2点、

大阪府知事賞部門：奨励賞2点、
渡辺節賞部門：渡辺節賞2点を選出

表彰式

日程 令和6年5月22日(水)

本会定時総会式典席上

会場 KKR ホテル大阪

審査経過並びに総評



審査委員長
橋爪紳也

前年度に引き続き、審査委員長を担わせていただいた。

「大阪建築コンクール」は、昭和29年、建築士が職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、地域文化の振興に寄与するべく、建築作品を評価し、優れた建築作品の設計者を表彰することを目的として創設された。占領下にあったわが国が主権を回復して2年後、復興から高度経済成長に向かう途上で設

けられた大阪の建築界にあって重要な顕彰制度である。しかし昨年の総評にも記したように、各年度の最優秀建築士を選ぶアワードとしては応募数が十分でない。

かつてのシカゴがそうであったように、戦前期から戦後高度成長期までの大阪では個性的な建築家が魅力的な建築群を生み出していた。現在のロッテルダムがそうであるように、大阪は「建築の都市」と称するに値するほど、建築が都市のアイデンティティの一部を構成していた。私は往時の状況を鑑みて、豊かな建築文化が創造される「建築の都市」として大阪を再創造したいと考えている。そのために「生きた建築ミュージアム」の概念を示し、日本最大の建築フェスティバルを立ち上げてきた。

都市名を冠とする「大阪建築コンクール」の活動も、大阪をふたたび、世界的な「建築の都市」とするムーブメントを起こ

すうえで、一翼を担っていただければと願ってやまない。建築界の革新と発展を促すアワードとなるべく、再起動をはかれんことを関係各位に求めたい。

以下、本年度の審査の経過について述べておきたい。今年は大阪府知事賞部門に35点、渡辺節賞部門に11点の応募があった。まず書類による1次審査を実施、投票で多くの票を集めた上位作品および個別の委員から強い希望があった14作品を審査の対象とした。そのうえで現地を訪問し設計者や施主から説明を受け、質疑応答を行った。

最終審査は大阪府建築士会の事務局で行った。贈賞に値するとされた作品と建築士を選定、全員の合意を得て2点を「大阪府知事賞」、2点を「渡辺節賞」とすることになった。また知事賞とするには全員の一致を見なかったが、複数の委員から強く推す意見があった2点について、審査委員長の

判断によって奨励賞を贈ることとした。

個別の評価については別掲の審査講評を参照していただければと思う。概観すると本年度は、オフィスビルの新たな姿を提示する作品が目についた。新型コロナウイルス感染症が世界的に流行するさなかに提唱された「ニューノーマル(新しい日常)」、ないしは「アフター・コロナの時代」に応じるべく、リモートワークやフリーアドレスに対応したオフィスが常識となるなかで、新たなワークスペースのデザインが各所に現出しつつあることを確認した。今後、この領域にあって、優れた作品が続々と生まれることになるだろう。

以下では贈賞には至らなかったが、最終審査の対象となり、印象に残った作品について簡単に触れておきたい。

「CONCOM 南久宝寺」は大阪の中心市街地である船場地区にあって、街区内に取り残された狭小地や変形地を建築設計士がみずから購入のうえ設計、テナントを誘致し、内装の設計・施工を行い、継続して管理するものである。問屋街の空き地にタワーマンションやホテルの建設

が相つぐ地域にあって、建築家が職能を越えて、持続可能なまちづくりに参画する意欲的な事業である。今後、複数の同様のプロジェクトが進行していると応募書類に記載があった。さらなる展開が楽しみである。

「Panasonic XC KADOMA」は、自然やまちに開かれた「ニューノーマル時代のワークプレイス」を目標に、複数のグループ会社のオフィスを受け入れるべく新築されたビルである。建屋の中央に居心地の良い外部環境を取り込み、共用空間とするなど良く練られた建築計画だと思う。今後、近接して研究棟を新築、道路を挟んで南に接する駅とブリッジで繋ぐ予定であるという。エリア全体をリノベーションするなかで端緒となる建物として評価したい。ただ今回は新しいオフィスの応募が複数あり、本作品を推す委員もあったが、相対的な評価の結果、賞にまでは至らなかった。

「KANEKA Wellness Center」は、既存の雑木林を保全しながら、企業の健康福祉に関連する施設を建設したものである。保存樹木のあいだに収まるように、複数の多面体の大屋根を構成したデザインに特徴が

ある。

「大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟」は、駅前再開発の中核施設として、街の顔となると同時に地域に開かれたキャンパスとなるように設計がなされた。かつて上本町に大学があった時代のメモリアルである鉄扉を活用するなど、伝統を継承する試みも印象深かった。

「六甲 奥々の家」は、六甲山系にある奥池の住宅地のなかでもっとも高台に位置して、遠く大阪湾や市街地を望む地所に立つ邸宅である。取得から10年以上、ここに住まいを建設したいと想いを温めてきた施主の希望を受けて、建築士がかたちにしたものだ。六甲山系の植生への配慮などが印象的であり、真に優れた住宅であると評価されたが賞には至らなかった。

アプローチはそれぞれに異なるが、本年度も最終選考に残った作品の多くが、土地の履歴や周辺環境を読み込んだうえで、地域に開く新しい建築をかたちにしたいという建築士の意欲を強く感じさせるものであった。設計者の熱意と創意に敬意を表したい。

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 壊と家

設計者 齊藤智士 (建築設計事務所 SAI 工房)



齊藤智士
1986年8月生まれ
2011年3月 京都芸術
大学建築デザインコー
ス卒業
2013年3月 広渡建築
設計事務所退社
2013年4月 建築設計

事務所SAI工房設立 現在に至る
2017年3月-2021年3月

修成建設専門学校非常勤講師
2021年4月 京都芸術大学非常勤講師
2021年4月 摂南大学 非常勤講師

【主な建築作品と受賞歴】
「塚の家」2016年 ケミュー-施工事例コンテスト
優秀賞(竹原賞)

「堰の家」2021年 第64回大阪建築コンクール
渡辺節賞

「KOKAGEビル」2023年 JIA中国建築大賞
2022 奨励賞

「榛原郷の屋根と床」2023年 第15回くすのき
建築文化賞 佳作

「壊と家」2023年 ARCHITECTURAL DESIGN
AWARD 2023 優秀賞

建築位置/淡路市 建築主/個人 (U様) 竣工年月/2022年4月 階数/地上2階 建築面積/185.52㎡
建物用途/戸建住宅 施工者/株式会社池正 構造/W造 敷地面積/528.04㎡ 延床面積/185.52㎡ 撮影 山内紀人

〈審査講評〉元々田んぼだった軟弱地盤への配慮、隣接する母屋との関係性、そして周辺環境への開放性とプライバシー確保のバランス、いずれもがスマートに解決された秀逸な作品であった。平面計画はもとより、断面計画において、これらの課題が上手に解かれており、約1mの高さに地盤を設定したことや深い軒下空間と土間空間との連続性が、大地や自然の存在を味方につけ、落ち着いた佇まいを獲得することに成功していると高く評価できる。(審査委員 根本哲夫)

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 IIS/IIK 堺新事務所

設計者 森田昌宏・越野達也・木南達也 (株式会社竹中工務店)



建築位置 / 堺市
 建物用途 / 事務所
 建築主 / 株式会社 IHI インフラシステム
 施工者 / 株式会社竹中工務店
 竣工年月 / 2023年4月
 構造 / S造
 階数 / 地上3階
 敷地面積 / 170,145.04㎡
 建築面積 / 2,691.74㎡
 延床面積 / 7,581.62㎡
 撮影 小川重雄

〈審査講評〉 橋梁・鉄鋼事業を手掛ける企業の2つの子会社を統合する新社屋である。ノコギリ屋根の窓からは自然光が降り注ぎ、縦動線を中心に、「ABW」と呼ばれる働き方に呼応する様々な場所が配置されている。労働環境が改善し、交流が増えたと話す社員の顔は明るい。鉄骨造の鋼材は全てあらわし。板取りして製作した鋼板のサイン、カテナリー曲線を描くワイヤーで吊った照明など、鉄の質感と技術力を来客にさりげなく伝えるデザインが楽しい。堺の臨海部の工場群に新たな風景を作っている。

(審査委員 樹田洋子)



森田昌宏
 1963年11月生まれ
 1987年3月 京都大学工学部建築学科卒業
 1989年3月 大学院修士課程修了
 1989年4月 株式会社竹中工務店入社

【主な建築作品と受賞歴】

2012京都デザイン賞大賞・2014建築学会「作品選集2014」・2014第3回インテリアプランニングアワード2014優秀賞・2014第7回NISCインバンドデザインコンテスト グランプリ・2014年度グッドデザイン賞・萬福寺第二文華殿 / 2013第7回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト において、かおり環境協会賞・2013DSA空間デザインコンペティション入選・2013第20回空間デザインコンペティション最優秀賞・2014第3回インテリアプランニングアワード2014橋本夕紀夫賞・2014年度グッドデザイン賞・2014建築士会連合会賞優秀賞・2014第34回大阪都市景観建築賞緑化賞・2014建築学会「作品選集2015」:旧桜宮公会堂



越野達也
 1982年9月生まれ
 2006年3月 東京都立大学工学部建築学科卒業
 2008年3月 首都大学東京大学院修士課程修了
 2008年4月 株式会社竹中工務店設計部入社
 2019年4月 株式会社竹中工務店設計部課長

【主な建築作品と受賞歴】

東京建物八重洲ビル / 荏原製作所藤沢事業所本館 / 風のプロムナード-ニフコYRP- / 東京ガーデンシアター
 2017年 第27回AACA日本建築美術工芸協会賞芦原義信賞(新人賞) / 2017年 第5回鈴木楨次賞優秀賞 / 2017年 日本建築家協会優秀建築選 JIA優秀建築選(100選) / 2017年 第15回照明デザイン賞優秀賞 / 2014年・2017年 第58回・第61回神奈川建築コンクール優秀賞 / 2018年 日本建築士会連合会賞奨励賞 / 2020年 日本建築学会作品選集新人賞



木南達也
 1989年12月生まれ
 2019年8月 株式会社竹中工務店入社

【主な建築作品と受賞歴】

タクマビル新館(研修センター)
 第8回鈴木楨次賞大賞 / 第3回日本建築士会連合会建築作品賞U40建築賞 / ウッドデザイン賞2021優秀賞(林野庁長官賞) / 令和3年度木材利用優良施設表彰(国道交通大臣賞) / 第14回建築人賞

■大阪府知事賞部門 奨励賞 エア・ウォーター健都事務所

設計者 小幡剛也・平岡健太郎・河崎菜摘 (株式会社竹中工務店)



撮影 母倉知樹

建築位置 / 摂津市
 建物用途 / 事務所
 建築主 / エア・ウォーター株式会社
 施工者 / 株式会社竹中工務店
 竣工年月 / 2023年6月
 構造 / S造
 階数 / 地上4階
 敷地面積 / 3,663.61㎡
 建築面積 / 1,937.69㎡
 延床面積 / 4,741.23㎡



小幡剛也
 1969年2月生まれ
 1991年 京都大学工学部建築学科卒業 / 1993年 同大学院修了 / 1993年 株式会社竹中工務店設計部入社 / 2024年 同設計部長



平岡健太郎
 1972年8月生まれ
 1999年3月 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了 / 1999年4月 株式会社竹中工務店入社



河崎菜摘
 1991年8月生まれ
 2014年3月 京都工芸繊維大学工学部造形工学課程卒業 / 2014年4月 同大学院造形化学科建築学専攻入学 / 2016年3月 同卒業 / 2016年4月 株式会社竹中工務店設計部入社

2021年 三栄建設新築構事業本部新事務所・第63回BCS賞・大阪建築コンクール知事賞・AACA賞奨励賞 / 2022年 サントリー天然水北アルプス信濃の森工場・日本空間デザイン賞(サステナブル空間賞/審査員特別賞)・グッドデザイン賞

2003年 SDA優秀賞:RIBIA / 2005年 大阪市ハウジングデザイン賞:大阪イーストガーデンズタワー / 2010年 大阪市ハウジングデザイン賞:グッドデザイン賞:N4.TOWER / 2022年 医療福祉建築賞:国立循環器病研究センター

2016年3月 同卒業 / 2016年4月 株式会社竹中工務店設計部入社

〈審査講評〉 在宅ワークの可能性が広がる今、オフィス空間の価値は効率よく働く場所を超えて、来たくなるような場所づくりが求められている。ここでは、地域に開かれた1階カフェから、ワークキングスペースを経て上階の執務スペースまでが、吹き抜け周囲にスキップしながら上がっていくフロアによって繋ぎ合わされている点に、新しい価値が感じられた。各フロア外周をめぐるワークテラスも相まって、豊かな働き方のイメージが実現されていた。(審査委員 山本麻子)

■大阪府知事賞部門 奨励賞 箕面船場阪大前駅エントランス

設計者 前田茂樹 (ジオ・グラフィック・デザイン・ラボ)
 中西富仁広 (株式会社東畑建築事務所)



撮影 JIKU ART

建築位置 / 箕面市
 建物用途 / 事務所、ギャラリー、公衆便所、カフェ
 建築主 / 箕面市
 施工者 / 村本建設株式会社
 竣工年月 / 2023年12月
 構造 / RC・S造
 階数 / 地下3階・地上2階
 敷地面積 / 1,364㎡
 建築面積 / 102㎡
 延床面積 / 2,240㎡



前田茂樹
 1974年1月生まれ
 1998年3月 大阪大学工学部建築工学科卒業 / 2000-10年 ドミニク・ペロー・アーキテクチュール(DPA) / 2010年 ジオ・グラフィック・デザイン・ラボが設立



中西富仁広
 1967年1月生まれ
 1989年3月 大阪工業大学工学部建築学科卒業 / 1989年 東畑建築事務所入社、現在同社設計室部長 / 2017年 大阪工業大学非常勤講師 / 2023年 大阪工業大学大学院非常勤講師

〈高浜町6次産業施設UMIKARA〉2021年 グッドデザイン賞2021・2022年 日本建築家協会(JIA)優秀作品選2022・2023・2022年 第31回日本美術工芸協会AACA賞入選 / 〈三宅町交流まちづくりセンター-MiiMo〉2022年 奈良県建築士会「場を生むデザイン賞」優秀賞・2023年 大阪建築コンクール奨励賞・2023年 日事連建築賞奨励賞

〈同志社大学医心館〉2012年 日本建築学会作品選集 / 〈大阪市立大学理系学舎〉2015年 日本建築家協会(JIA)優秀建築選 / 〈京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab〉2020年 日本建築学会作品選集

〈審査講評〉 前例が重んじられ、機能性が何より優先される駅空間において、通過動線に魅力的な余白空間が巧みに組み込まれていることや、開放的な高い膜屋根を実現していることが印象的である。これらは様々なアクティビティを発生させる余地を内在しているとともに、「最寄り駅」としてのアイデンティティを確立している。土木基準で解かなくてはいけない厳しい状況下でも、大胆かつ肌理細やかな空間構成が実現している点も高く評価したい。(審査委員 根本哲夫)

■渡辺節賞部門 渡辺節賞 箕面の家

設計者 本岡一秀・伊藤祐紀（本岡伊藤アーキテクト）

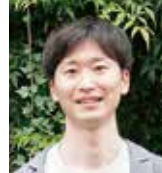


本岡一秀

1991年3月生まれ
2013年 京都工芸繊維大学工学部造形工学課程卒業
2015年 京都工芸繊維大学大学院工学研究科建築設計学専攻修了
2015年 株式会社安井建築設計事務所
2022年 株式会社YAP一級建築士事務所
2022年 本岡伊藤アーキテクト一級建築士事務所開設
2023年 関西学院大学非常勤講師

[主な建築作品と受賞歴]

2021年「箕面の家」名古屋モザイク工業DESIGN AWARD 2022 ファイナリスト優秀作品
2022年「宝塚の家」



伊藤祐紀

1988年10月生まれ
2010年 豊田工業高等専門学校建築学科卒業
2012年 京都工芸繊維大学工学部造形工学課程卒業
2015年 京都工芸繊維大学大学院工学研究科建築設計学専攻修了
2015年 株式会社竹中工務店
2022年 本岡伊藤アーキテクト一級建築士事務所 共同主宰
2024年 関西学院大学非常勤講師

[主な建築作品と受賞歴]

2019年「深江竹友寮(前職)」2022年日本建築学会近畿支部新人賞(作品)
2021年「箕面の家」名古屋モザイク工業DESIGN AWARD 2022 ファイナリスト優秀作品
2022年「宝塚の家」

建築位置／箕面市 階 数／地上2階
建物用途／戸建住宅 敷地面積／99.66㎡
建築主／本岡一秀・本岡仁美 建築面積／57.46㎡
施工者／コムウト 延床面積／99.62㎡
竣工年月／2020年10月
構造／W造

撮影 Yosuke Ohtake

〈審査講評〉 閑静な住宅地の狭小な敷地に建つ設計者の自邸。1階の窓の腰高を高くすることにより、周囲からの視線からプライバシーを守りながらも2階窓と一体とすることにより、吹き抜けとした内部空間全体に明るさを確保。東西に立ち並ぶ隣家のセットバック部に居間を配し、光と風が通り抜ける開放的な空間。細長い建物の居場所により天井高が変化する空間構成は心地よく、爽やかで意欲的な作品である。

(審査委員 浅尾 宏)

■渡辺節賞部門 渡辺節賞 しらさぎ子ども図書館－詩の森－

設計者 湯川晃平（ユカワデザインラボ一級建築士事務所）



湯川晃平

1985年3月生まれ
2007年3月 京都大学工学部建築学科卒業
2009年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了
2023年3月 京都芸術大学大学院芸術研究科(通信教育)芸術専攻 学際デザイン研究領域修了

2009年4月 株式会社竹中工務店入社
2020年8月 株式会社竹中工務店退社
2020年12月 ユカワデザインラボ一級建築士事務所開設
現在に至る

2020年4月 京都橋大学非常勤講師
2023年4月 摂南大学非常勤講師

[主な建築作品と受賞歴]

2012年 グッドデザイン賞(前職)
2014年 東京建築賞 第40回建築作品コンクール共同住宅部門優秀賞(前職)
2020年 日本空間デザイン賞入賞(前職)
2023年 日本空間デザイン賞入賞/しらさぎ子ども図書館－詩の森－
2023年 ウッドデザイン賞入賞/同上

建築位置／堺市
建物用途／集会所
建築主／公益財団法人しらさぎ育英基金
施工者／株式会社ヴィーコ
竣工年月／2023年3月 敷地面積／281.44㎡
構造／W造 建築面積／134.25㎡
階 数／地上2階 延床面積／192.17㎡

撮影 田中克昌

〈審査講評〉 私設の図書館と子ども食堂が、小さな建物の中に同居している。少し広めの住宅ぐらいのスペースに、広い場所や狭い場所が大階段によってうまく繋ぎ合わされ、包まれるような場所が生まれており、軽く「く」の字に折り曲げられた平面や、片流れの屋根の軒先からさらに垂れ壁が下がる「枝垂れた屋根」などの空間的な工夫が、こういった居心地良い場所づくりに、新しくかつ発見的な効果をあげていた。

(審査委員 山本麻子)

動静レポート

会長動静

- 4/26 日本建築士会連合会「木の建築賞」プレハブ建築協会関西支部総会
- 4/30 在阪建築4団体会長会議
- 5/9 日本建築士会連合会役員選考会
- 5/14 大阪空気調和衛生工業協会総会
- 5/16 日本建築材料協会総会
- 5/17 正副会長・常務理事面談
奈良県建築士会総会
- 5/19 石貫副会長黄綬褒章受章祝賀会
- 5/20 朝日新聞社取材対応
- 5/22 定時総会
- 5/23 全日本不動産協会大阪府本部総会
- 5/24 大阪府宅地建物取引業協会総会
- 5/25 滋賀県建築士会総会

令和6年度定時総会と行事の開催

5月22日に定時総会をKKRホテル大阪で開催し、総正会員数2,193名に対して1/3以上となる863名（うち委任状713名）の出席で定款第17条に照らして成立しました。

◇岡本森廣会長の挨拶



平素は本会の活動に対しまして、会員の皆さま方には日頃のご支援ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

本会は会員の減少化、財政基盤の脆弱性、基幹活動の低調などが恒常的になっているのが現状です。

来年は確認申請の電子化、省エネの第三者認証・適合判定の義務化、4号建築物の構造厳格化が実施されることもあり、公益社団法人として、それらの対応はたいへん重要

な役割と認識しております。

また来年は大阪・関西万博を迎え、建築士会全国大会「大阪大会」の開催年でもあり、飛躍的な諸活動の多様化を図り、本会の存在価値を高める機会として前進してまいりますので、会員の皆さまの更なるご支援をお願い申し上げます。

◇第1号議案（令和5年度事業報告）

令和5年度に実施した公益目的事業（公1・公2・公3）、収益事業、その他事業について、運営会議・社会貢献（業務・地域・建築情報）・建築表彰・研修の常設部門別に報告し、承認されました。

◇第2号議案（令和5年度財務報告）

貸借対照表に基づき、資産の部で流動資産と固定資産を合わせた資産合計は131,533,856円、負債の部での合計は65,554,456円、正味財産合計は、18,502,535円増して、65,979,400円を報告しました。

正味財産増減計算書による経常収益合計は168,773,241円、経常費用合計は150,270,706円、当期経常増減額は18,502,535円になります。

経常収益は、会費納入及びCPD登録は堅調、試験事業の受験者及び定期講習など法定講習の受講者は減少しておりますが、既存住宅状況調査技術者講習や耐震評価業務、行政受託事業などは増収の傾向にあります。また、本会への多額の寄附金11,728,745円による基金創設及び会員基金への積立が正味財産を大きく増額しました。経常費用は、事務局職員の減数による人件費の減額が主要因となり、上掲の当期経常増減額から寄附金を除いても約680万円の当期増収を報告しました。

公益法人を満たす条件は3点あり、1点目は経常費用計で合計額に対して、公益目的事業小計が50%以上になっていること（5年度の公益目的事業比率は87.9%）、2点目は当期経常増減額で公1・公2・公3及び小計欄がマイナスであること、3点目は収1事業の収益と費用の差引利益額の一部を公益目的事業会計に振替えたあとの当期一般正味財産増減額において、公益目的事業会計の小計がマイナスになっていることです。以上の条件3点がすべて満足されており、

令和5年度の決算において、本会は公益社団法人としての基準を満足したことを報告し、承認されました。

◇監査報告

5年度は約680万円の黒字決算に多額のご寄附を賜って大きく正味財産を増額できていますが、4年度は約630万円の赤字決算であったことから両年度計では体制が持ち直したとまでは言えません。

6年度予算では確固たる収益事業がなく事業利益は不透明な状況が続くことを認識して、以降の事業推進を図ることが引き続き急務であるとなりました。

◇第3号議案（令和6年度役員選任）

理事・監事候補者選考委員会の推薦により理事会で承認された理事候補者の23名が総会において選任され、令和6年度の構成は留任の理事24名と監事2名を合わせて役員49名となりました。

■表彰式

名誉正会員称号、栄誉・永年会員、CPD制度表彰の会員表彰と、第67回大阪建築コンクール、第16回建築人賞の建築作品表彰を行いました。受賞作品の詳細は、大阪建築コンクールは本誌6月号、建築人賞は本誌7月号に掲載いたします。

■記念講演会



齋藤公男氏（構造デザイナー、日本大学名誉教授、A-Forum代表）をお迎えし、「想像から建設へ～私にとってのアーキテリング・デザイン～」のテーマで、ITと共存するための人間力に大切なものは発想・閃き・思考・工夫であり、それらが建築デザインの世界にも強く求められるというご講演は好評を博しました。

大野治代氏 日本色彩学会 学会賞受賞記念講演 ～色彩とわたし～

日時：令和6年4月19日(金)

会場：大阪市立中央公会堂

参加者：67名



曾我部千鶴美(青年女性委員会委員長)

受賞記念講演会としてふさわしく、色彩に深い造詣のある先生のお話を聞く場所として、大阪の知と文化と歴史のシンボルである国指定重要文化財大阪市中央公会堂にて開催しました。

日本色彩学会は、70年以上の長い歴史を有する学会です。色彩学会の目的は、色彩学およびその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互および内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、色彩学の進歩普及を図り、もってわが国の学術発展に寄与することとしているとHPに掲載されています。大野先生は、1981年に色彩学会に入会後、毎年研究発表を続けられ、国際会議等での発表、「建築設計資料集成-1」や建築学会における「建築の色彩設計ガイド」他、数多くの著書も発表されています。この度、2023年5月に第27回日本色彩学会賞を受賞されました。大阪府建築士会におけるご活躍は

今更申し上げる必要ないと思いますが、青年女性委員会で常に的確なアドバイスをいただき、本当に感謝しております。

講演会当日は、多くの方にご参加いただきました。大野先生の学びたい、自立したいという思い、女性が手に職を持つということの大切さを幼いころから考えられておられたことに敬服いたしました。技術職で働き始めたにもかかわらず、お茶くみが仕事だったころから現在に至る半世紀近い大野先生のご活躍のすべてをお話していただきました。

「色」は個人の主観や感覚に左右されるところが大きい。だからこそ、設定条件を明確にしてデータの収集を行い、一定量のデータに基づくエビデンスを明確にして議論をすることが重要であることも教えていただきました。今後も加齢に伴う色の見え方や感じ方に関するさまざまな研究課題を掲げ、研究を続け

られるとおっしゃっていました。また、仕事だけでなく趣味を持つことの大切さもお聞きしました。利尻富士に登ったことから始まった、日本の名山制覇に燃えておられます。近年は、登った山を版画にして年始のごあいさつ状にされています。歌を愛し歌を楽しむこと、昨年からフラダンスも始められています！今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。



建築相談室から(84) のれない相談

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

本会の電話相談にはトラブルや係争(裁判や調停)中の案件はしばしばあります。しかし、それらの相談には応じられないものも含まれます。

■現在調停中の相談

木造2階建て戸建て住宅を工務店に発注して、2019年より工事を始めたが紛争になって現在も完成していない。家庭裁判所において調停中である(相談シートまま)。問題点は、居室と考えていた部屋が納戸になっている、排煙が確保されていない和室がある、軒の一部が越境している、副本などの書類が手渡されていない、などであり、工務店側は施主が勝手に工事を止めていると主張している。全面的に工務店に非があると思うがどうか?という相談がありました。

このような係争中の案件の電話相談では一方の意見しか聞けない上に正確な情報はわかりません。この相談も、相談者からの情

報を鵜呑みにすることはできません。このような相談は、電話口で相談担当者への感想や感想を伝えるのは好ましくなく担当者自身も紛争に巻き込まれることになりかねません。「よくないですね」などと相手の非を認めるような発言や、よかれと思って相談者に同調することだけでも「建築士が認めた」と一人歩きしかねません。

■やり直しを求められるか

現在住んでいる建物の外構を近所の工務店に依頼して工事は終わったが、コンクリート表面のひび割れやジャンカ、色むらが多く汚い。レンガ敷き部分も不揃いや不陸が多い。施工不良と考えているが、やり直しの要求はできるのかという相談。これも現状を見ないかつ片方からの一方的な電話での情報だけでは正確に判断できず安易に回答しづらい相談事例です。

■手すりが取れて転倒した

木造2階建てに住んでいる方から、手すりのブラケットが外れて転倒した。これから訴訟などの法的な手続きを考えている。事前に知識を得たいと思って連絡した、という相談。この相談も安易に回答できません。手すりが外れた原因や責任がどこにあるのか、その請求が法的に可能か否か、等の判断は当然建築士だけでは手に負えません。係争中や係争前の案件については、建築士と弁護士が連携しながら対応に当たることが不可欠です。電話で相談してくる相談者は切羽詰まっている場合も多く、相談を受ける側もなるべく一生懸命応じようとしてしまいます。しかし、現在のところ一歩引いた冷静なアドバイスとなり、相談者が訴訟の準備をしている場合などは、残念ながら相談には応じられないとしています。今後委員会に於て、そのような相談に適確に対応できる体制づくりを検討する必要があると考えます。

Information

建築士会からのお知らせ

【WEB版】確認申請のプロ養成講座 初級編 5/1～7/31 CPD3単位

Point1

なかなか教えてもらえなかった確認申請。その基本を知るだけで、あなたは確認申請のプロと呼ばれる。そんな講座がスタート!

Point2

訂正項目が少なく、審査がしやすい申請図面が作成できれば建築着工も安心!

Point3

常に変化している確認申請の世界。住宅の省エネ適合義務化や4号特例の縮小、そして申請のデジタル化による電子申請などの最新事情がわかる。

★フォローアップ付き!

受講者の皆様には確認申請書の書き方等に関する質問に対応いたします。

(2025年4月30日まで)

★視聴期間中はいつでも繰り返し視聴可能です!

※2024年2月28日に実施した同名の講習会と同内容です。

視聴期間 5/1(水)10:00～7/31(水)終日

配信方法 WEB講習

受講料 建築士会会員6,000円

後援団体会員6,500円

一般7,000円

申込 大阪府建築士会HPより

主催 近畿建築確認検査協会

共催 (公社)大阪府建築士会

令和6年度 建築士定期講習

6/14、7/24、8/23、9/19、10/18、
11/20、12/13、1/22、2/4、3/27

CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和3年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

※6/14(金) 大阪府建築健康会館 受付終了

7/24(水) 大阪YMCA会館 200名

※8/23(金) 大阪府建築健康会館 受付終了

9/19(木) 大阪府建築健康会館 90名

※10/18(金) 大阪府建築健康会館 90名

※2/4(火) 大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義

日程・会場・定員

11/20(水) 大阪府建築健康会館 90名

※12/13(金) 大阪府建築健康会館 90名

1/22(水) 大阪府建築健康会館 90名

3/27(木) 大阪府建築健康会館 90名

※の日程 大阪府建築士会が運営

※以外の日程 大阪府建築士事務所協会が運営

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前入金)

申込 下記URLよりお申込みください。

インターネット申込みができない方は、

大阪府建築士会HPの定期講習の案内をご確認ください。

https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off_teiki/index.html

令和6年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習第1回

7/6 CPD4単位(予定)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講習で保存活用、調査や修復技術などを学びます。

日時 7/6(土)

10:00～講座:民家の特徴と所見作成

13:00～見学・現場でのスケッチの取り方と復原平面図の描き方・実測演習

15:00 終了

15:00～16:00 フリータイム

(実測・見学・地村氏への自由な質問など)

テーマ

『「登録」に向けて一泉州地域の民家の特徴と所見作成・実測のスキルアップ』

泉州地域の民家の特徴や地域性を学び、

その後、実際に井手家住宅を見ながら特徴の解説を受け、所見の書き方、現場での

スケッチの取り方と復原平面図の描き方を学び、最後に実測実習を行います。井手

家住宅を登録文化財にすることを想定して、

実践的な内容をより具体的に学びます。提出していただいた所見や図面は、

地村氏に添削とコメントをつけいただき、

皆様と情報共有します。

会場 水間の庄屋屋敷 井手家住宅

貝塚市水間407

定員 40名(申込先着順)

資料代 本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員2,500円、

会員外3,500円

既存住宅状況調査技術者講習新規講習7/10、9/11、11/13

更新講習10/9、12/11、3/12

CPD新規5単位、更新2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士だけに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。令和3年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習(DVD)

日時 7/10(水)、9/11(水)、11/13(水)

9:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込21,450円

郵送申込22,000円

▼更新講習(DVD)

日時 10/9(水)、12/11(水)、3/12(水)

13:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込17,000円

郵送申込17,600円

申込 日本建築士会連合会ホームページより

お申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujyokochosa.html>

令和6年度 監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)

7/26、9/26 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日程 7/26(金)、9/26(木)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページより

お申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

ウクライナの建築と文化を学ぶ

6/24 CPD2単位(予定)

日時 6/24(月) 18:30～20:30

会場 大阪市中央公会堂 小集會室

講演内容

1)ウクライナの現状報告

講師:日本ウクライナ文化交流協会

会長 小野元裕氏

2)ウクライナの古建築:木造と石造の魅力

な世界

講師:キウ国立建設建築大学

教授 ガリーナ・シェフツォバ氏

定員 100名(申込先着順)

参加費 会員3,000円 一般4,000円

全国女性建築士連絡協議会(東京)

未来へつなぐ「まち・ひと・建築」～インクルーシブな社会を目指して～

7/14、15

日本建築士会連合会 女性委員会では、「未来へつなぐ『まち・ひと・建築』～インクルーシブな社会を目指して～をテーマに、第33回

全国女性建築士連絡協議会(東京)を東京会場とオンラインの両方で開催します。

高齢化により障がい者比率が増加し、外国人旅行者も増える中で、誰もが安心して使える快適な建築として「トイレ」をクローズアップして考えてみたいと思います。

基調講演は2部構成とし、第1部ではTOTO株式会社の真島香氏より「一人でも多くの人

に使いやすいパブリックトイレを目指して」について、第2部では株式会社日建設計の畑島楓氏より「インクルーシブな社会を目指して～トイレから誰もが使いやすい建築を考える～」についてご講演いただけます。被災地報告では1/1に発生した令和6年能登半島地震の報告と岡山県の活動報告を予定しています。

日時 7/14(日) 13:30～17:15

開会式、被災地報告、活動報告、

基調講演

7/15(月・祝) 9:00～12:00

分科会・全体会

会場 日本建築学会建築会館(東京都)

対象 男女を問わずご参加いただけます。

参加費 会員 会場参加3,000円

オンライン参加1,500円

一般 現地参加4,000円

オンライン参加2,500円

学生無料

申込締切 6/12(水)

申込 大阪府建築士会 青年・女性委員会まで

海外研修(上海)報告会

「ヒューデックの世界と現代の上海」

7/26 CPD2単位(予定)

2024年2月22日～26日に訪問した上海の海外研修の報告会を開催いたします。上海租界時代の建築家ラズロ・ヒューデックの作品

をはじめ、上海の建築群、古鎮のまちなみ、

などをスライドで紹介いたします。また2019年に

交流協定を結んだ上海市建築学会の表敬訪問、

竹中(中国)建設工程有限公司の上海本店訪問の様子も併せて報告いたします。

皆様、奮ってご参加のほどお願いいたします。

日時 7/26(金) 18:00～19:30(終了予定)

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

参加費 会員1,000円 一般2,000円

学生、大阪府建築士会2023年・

2024年度新入会員500円

報告会後、懇親会を開催いたします。

会費 3,600円(予定)

国宝 住吉大社を語る

ー最古の神社形式の中の住吉造ー

8/3 CPD3単位(予定)

伊勢神宮の「神明造」、出雲大社「大社造」、

住吉大社「住吉造」は、日本最古の神社建築

の様式であるといわれています。

今回、これら三つの神社建築の比較も含めて、「住吉造」の建築様式について総合的・

学術的な知識にふれてわが町の資産である「国宝 住吉大社」をクローズアップしたいと思います。

日時 8/3(土) 14:00～17:00

会場 住吉武道館

定員 30名(申込先着順)

参加費 会員2,000円 会員外3,000円



Informationの詳細及び申込みは本会ホームページに掲載しています。

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

行政からのお知らせ

大阪市環境局主催 特定建設作業等に係る講習会 6/13

建設作業に係る苦情の未然防止及び法令で定められた届出の円滑化等を図るため、次のとおり講習会を開催いたします。特定建設作業届出のほか、建築物等の解体等工事に係る石綿(アスベスト)の事前調査、盛土規制法(宅地造成及び特定盛土等規制法)に関する内容をご説明いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 6/13(木) 14:30~16:30

会場 大阪市立中央区民センター
大阪市中央区久太郎町1-2-27

定員 200名

参加費 無料

申込 当日、会場へ直接お越しください(事前申込は必要ありません)

資料 6/6(木)までに下記の本市HPに掲載を予定しています。説明会当日は、ペーパーレス化の観点から、お持ちのタブレット及び携帯端末等に保存のうえご持参いただくか、本市HPから資料を閲覧いただけますようご協力をお願いします。なお、会場内にはご利用いただける無線LANのアクセスポイントはございません。

https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000598590.html

詳細 大阪市環境局環境管理部環境規制課
環境保全対策グループ
Tel.06-6615-7923

「第37回大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦を募集します!

大阪市では魅力ある良質な集合住宅(共同住宅・長屋・戸建住宅の集合)を表彰する「大阪市ハウジングデザイン賞」を実施しています。今年度も次のとおり募集を行い、推薦いただいた方の中から抽選で50名様に図書カード(500円分)をプレゼントします。たくさんのおすすめをお待ちしています。

応募締切 6/20(木)

対象 大阪市内の集合住宅「共同住宅」「長屋」「戸建住宅の集合」

①新築

平成31年4月1日以降に完成したもの

②既存建物の改造等

平成31年4月1日以降に優れたリフォームやリノベーション等をしたもの

③維持管理

平成16年3月31日までに完成し、良好な維持管理がなされているもの(築20年以上)

推薦方法

各区役所、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、住まい情報センター4階住まい情報プラザ、市役所1階市民情報プラザ等に設置のリーフレット内推薦はがき、または、下記ホームページ(行政オンラインシステム)からご応募ください。

https://www.city.osaka.lg.jp

jp/toshiseibi/page/
0000590707.html



茨木市景観計画の変更及び茨木市屋外広告物条例の制定等について

茨木市では、市の中心部において、歩きやすく、歩いて楽しく滞在や活動をしたいくなるような魅力ある景観形成を進めるとともに、市域全域において、本市の特性を踏まえた屋外広告物の適正な規制・誘導を図り、茨木らしい魅力ある広告景観の実現を目指すことを目的に、下記のとおり景観計画の変更及び屋外広告物条例等の制定並びに景観形成に関連するガイドラインの策定を行いました。

1 変更、策定等を行った計画等

- (1)茨木市景観計画〔令和6年3月変更〕
- (2)茨木市屋外広告物条例、施行規則〔令和6年3月制定〕
- (3)茨木市東西軸(中央通り・東西通り)ストリートデザインガイドライン〔令和6年3月策定〕
- (4)茨木市屋外広告物ガイドライン〔令和6年3月策定〕

2 公表場所(市ホームページ)

・茨木市景観計画

https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/toshiseibi/toshiseisaku/menu/toshikeikan/1340002701659.html

・茨木市東西軸(中央通り・東西通り)ストリートデザインガイドライン

https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/toshiseibi/toshiseisaku/menu/toshikeikan/toozajijiku/63790.html

・茨木市屋外広告物条例、同条例施行規則、同ガイドライン

https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/toshiseibi/toshiseisaku/menu/okugaikoukokuobutu/63910.html

その他のお知らせ

第31回プレストレストコンクリート建築技術講習会 7/12

開催主旨 PC建築技術の普及・発展の為

日時 7/12(金) 13:00~17:00

定員 東京会場200名
当日オンライン受講1,000名
オンデマンド受講100名
※いずれも事前登録制

参加費 無料

詳細・申込

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会

建築委員会建築部会建築広報推進小委員会
https://www.pcken.or.jp

e-mail: pc-kosyu@bizgroup.co.jp

一般社団法人大阪府建築士事務所協会主催 ちびっこ万博現場ウォッチング 7/29、8/26

万博建設現場の隣接敷地(大林組の現場事務所)からの現場見学会を開催します。

日時 7/29(月)、8/26(月)

両日とも10:00、13:00、15:00スタートの3コース(各1時間程度)

会場 大林組の現場事務所(万博の敷地内には入れません)

内容 現場事務所で動画等の視聴後、現場事務所屋上から現場視察、ちびっこからの質疑、大林組の技術者による概要説明を予定

定員 1回あたり5組(保護者同伴)、1組当たり保護者お2人と小学生3名まで。

参加費 無料

交通手段 自家用車にてご参加ください

注意事項

動きやすい服装(スカートは不可)、靴(ハイヒール、サンダル、クロックス等は不可)で参加ください。また、炎天下の屋上に20分程度滞在しますので、暑さ対策(帽子等)をお願いします。

その他

後日、現場ウォッチングの思い出絵画や感想文の提出をお願いします。提出された絵や文章は(一社)建築士事務所協会の機関誌に掲載させていただきます。

詳細・申込

一般社団法人大阪府建築士事務所協会

Tel.06-6946-7065

E-mail: info@oaa.or.jp

近畿職業能力開発大学校主催 能力開発セミナーのご案内

■「BIMを用いた建築設計技術」
-これからはBIMを使いたい方へ-

①日時 8/1(木)、8/2(金)

10:00~16:45(2日間)

受講料 12,500円(税込)

使用ソフト Revit

②日時 8/5(月)、8/6(火)

10:00~16:45(2日間)

受講料 12,500円(税込)

使用ソフト Archicad

③日時 8/19(月)、8/20(火)

10:00~16:45(2日間)

受講料 12,500円(税込)

使用ソフト Archicad

④日時 8/1(木)、8/2(金)

10:00~16:45(2日間)

受講料 12,000円(税込)

使用ソフト 積算ソフト(ヘリオス)

■「実践建築設計3次元CAD技術」

⑤日時 9/28(土)、10/5(土)

10:00~16:45(2日間)

受講料 10,500円(税込)

使用ソフト 3Dマイホームデザイナー
ピラネージ

詳細・申込

下記より受講申込書をダウンロードのうえ

お申込みください。

https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/corporate/se_application/index.html



公益財団法人日本住宅・木材技術センター主催 基礎から学ぶ「木造住宅のための住宅性能表示セミナー」 9/12 CPD2単位(予定)

当セミナーは、住宅性能表示制度をこれから学ぶ又は再び学びたい方を対象に、①構造の安定の計算演習を行いながら基礎から学ぶことができるとともに、必須項目である②温熱・省エネ、③劣化の軽減、④維持管理・更新への配慮についても学ぶことができます。セミナー終了後、希望者限定で長期優良住宅の認定申請・審査の効率化についての説明も予定しています。

日時 9/12(木) 10:00~17:00

会場 マイドームおおさか8階 第1会議室
大阪市中央区本町橋2-5

定員 30名

テキスト 「2022年版 木造住宅のための住宅性能表示」(当センターより2022年11月発行 第8版 定価7,370円)

受講料 テキスト持参

一般11,000円 賛助会員9,900円

テキスト込み

一般18,370円 賛助会員16,533円

詳細・申込

公益財団法人日本住宅・木材技術センター

http://howtecs.shop-pro.jp/

Tex.03-5653-7663

令和6年度会員名簿の掲載事項について

8月号に同封予定の会員名簿の掲載事項は、①氏名、②勤務先名、③勤務先住所・電話番号、④建築士級別(正会員のみ)となっております。つきましては、A.氏名以外(②~④)を掲載しない。

B.連絡先が自宅のみのため、③に自宅の連絡先を掲載する。

C.氏名を含め一切掲載しない。ホームページの名簿からも削除。

上記A~Cのいずれかをご希望の場合は、6月14日(金)までに本会事務局へメールかFaxにてご連絡ください(既にご連絡済の場合は不要です)。

e-mail: info@aba-osakafu.or.jp

Fax.06-6943-7103

令和6年度定時総会議案書のお詫びと訂正

建築人5月号に同封いたしました令和6年度定時総会議案書に誤りがありましたので、お詫びするとともに以下の通り訂正させていただきます。

<訂正箇所>P17

第3回 近畿学生住宅大賞表彰者一覧

(正)最優秀賞・企業賞

小森 魁 京都工芸美術大学

(誤)最優秀賞・企業賞

小森 魁 大阪工芸美術大学

大阪府ヘリテージマネージャーたちの12か月

—令和5年度文化庁地域文化財総合活用推進事業報告を中心に—

ヘリテージ委員会委員(前委員長) 所 千夏



大阪府ヘリテージマネージャーの活動を支えている、ヘリテージ委員会と大阪府ヘリテージマネージャー協議会は、常に連携をとり、お互いに協力し合いながら、年間を通して数多くの活動を行っています。それらの活動の中でも特に大きなウェイトを占めるのは、文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)による事業です。

令和5年度も、文化庁地域文化財総合活用推進事業に無事採択され、講座、まち歩き、シンポジウムなど、多岐にわたる内容で5つの事業を行いました。



まずは大阪府ヘリテージマネージャー育成講座。8月末から翌年1月にかけて全10回の連続講座を行い、全課程を受講された方が新たに大阪府ヘリテージマネージャーとして大阪府と本会に登録されます。令和5年度講座終了後、新しいヘリテージマネージャーが誕生し、現在大阪府ヘリテージマネージャーは262名が登録されています。去年は新しい試みとして、既に他府県などでヘリテージマネージャー等として登録されている方々に、地域講座として大阪という地域の特徴について学ぶ講座を受講いただくことによって、大阪府ヘリテージマネージャーの仲間に入ってもらえるしきみを取り入れ、兵庫県、京都府、和歌山県、奈良県などのヘリテージマネージャー合計20名が大阪府に新しく登録されました。

育成講座以外に、既に大阪府ヘリテージマネージャーになっている方も含めて、さらに自己研鑽できるステップアップ講座も開催し、去年は神社建築の登録業務や歴史的建造物の庭や煉瓦の話について学びました。



次に昨年初めて開催したのはガイド人材育成講座です。3回の連続講座で6回の講義+1回のまち歩き実践講座を加えて行いました。ヘリテージマネージャーとして活動していると、ガイドとしてのスキルは必須です。大阪の歴史について深く学び、大阪を訪れる方に対して大阪の魅力をより伝えるために開催し、23名の修了者が生まれました。これからは、ガイド育成講座修了者が中心になり、さらに魅力的なまち歩き企画を実践していくことになると思います。



3つめは、はじめよう、文化財の活用。国登録有形文化財の会場にてワークショップや建物見学、まち歩きなどを行い、文化財の保存や活用に関して体験しながら学ぶ講座です。去年は泉南・田尻町から北摂・島本町まで5か所の文化財建造物にて、会場周辺のまち歩きを行い、まちの歴史に触れ、その後所有者の方などから建物の話についてお聴きし、その後各会場伝統文化をテーマにしたワークショップなどを行いました。去年は、能・文楽・煎茶・茶道そして和菓子づくりなどを楽しみました。

4つめは新企画として、まち歩きとシンポジウムを開催しました。大阪府内のひとつの地域を限定し、その中でも特徴的な歴史的なまちなみや景観を楽しめるエリアを3か所厳選し、午前中まち歩きを行ったあと、午後から

地域にちなんだシンポジウムを開催するという企画でした。去年は北摂地域に焦点をあて、午前中、豊中市は岡町駅周辺原田神社や周辺の文化財の住宅、吹田市は村野藤吾と関西大学、池田市は酒蔵のあるまちをそれぞれ見学し、午後は北摂のまちの歴史や建築の見方や魅力、まち歩きの楽しみ方などをお聞きし、それらを受けて意見交換を行いました。この企画のために、今回紹介しきれなかった北摂の建造物について少しでも知ってもらうため、北摂歴史的建造物マップを作成し、参加された方にはお持ち帰りいただきました。



5つめは大阪講談です。現役最古の図書館である大阪府立中之島図書館を会場に、現役の講談師を迎え、初めての方にもわかりやすく大阪講談に触れることができる企画でした。中之島図書館は、江戸以降語り継がれてきた大阪講談に関する資料を多数保管しており、加えて重要文化財であることから、図書館ガイドツアーと大阪講談を組み合わせた企画は、満足度の高いものとなりました。



昨年度は文化庁の5事業以外にもスキルアップ講習や見学会等を行い、濃厚で充実した12か月となりました。

ヘリテージ委員会/大阪府ヘリテージマネージャー協議会

ヘリテージ委員会委員(前委員長) 所 千夏

大阪府ヘリテージマネージャーは、一年を通して大変忙しく走り回っています。

ヘリテージマネージャーは、もしかしたら歴史的建造物の保存活動ばかり行うと思われる方もおられるかもしれませんが、実際の活動は幅広く多岐にわたっています。特にヘリテージ委員会や大阪府ヘリテージマネージャー協議会運営委員会に所属している委員は、講座・まち歩き・シンポジウムなどの企画立案・運営から報告書まとめまでを担っています。並行して、市町村文化財担当者や所有者などへの訪問、歴史的建造物の調査業務なども行います。

今回はヘリテージ委員会と大阪府ヘリテージマネージャー協議会運営委員会の日頃の活動の様子についてご紹介します。

ヘリテージ委員会は、今年度から担当理事に就任された信藤委員長を含め12名の委員とアドバイザー3名から構成されています。月1回の委員会には、毎回ほぼ全員が会議室またはWebで委員会に出席し、活発な議論を交わしています。この委員会は大阪府建築士会の中で、歴史的建造物の保全・活用などヘリテージに関する事業の企画立案・運営などを担当しています。

大阪府ヘリテージマネージャー協議会(以下協議会)は、大阪府ヘリテージマネージャーが集う活動体で、大阪府ヘリテージマネージャーであればどなたでも入会できますが、

入会は任意です。協議会会員が主体的に活動できるようにテーマ別のワーキンググループ(WG)などの運営を積極的に行います。それらを中心に担うのは、協議会運営委員会で、昇会長を含めて20名の運営委員で構成されています。

ちなみに、大阪府ヘリテージマネージャーは令和6年3月の時点で262名、そのうち大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員は約200名が登録されています。

協議会は組織上ヘリテージ委員会の管轄ですが、ヘリテージ委員会と協議会は、例えるなら車の両輪のような関係が理想で、ともに連携してヘリテージ関係の活動を活性化することを目指しています。

ヘリテージ委員会の担う業務の中で例年大きなウェイトを占めるのは文化庁補助事業の円滑な運営です。令和6年度も昨年度に引き続き地域文化財総合活用推進事業に採択され、5つの事業(育成講座/ガイド人材育成/文化財の活用/まち歩きとシンポジウム/大阪講談と文楽)を行う予定です。

加えて昨年度は、熊取町から歴史的建造物調査業務を受注し、文化庁事業と並行して調査業務のスキームを整理し、調査員募集、調査の実施、報告書のまとめなどを行うことになり、例年に増して、目の回るような忙しさでしたが、年度末には無事報告書が完成、業務完了いたしました。

一方協議会は、運営委員会を中心に活動しています。協議会の中には現在6つのWG(情報/活用事業計画/ガイド人材育成/維持保全/景観まちなみ無形遺産/被災支援)が立ち上がっており、委員会や事業の合間を見て、WG活動を進めています。WGは希望者があれば運営委員会に提案し、新しく立ち上げることもできます。



協議会として最も重要な事業は、協議会総会です。年1回4月末ごろに開催し、記念講演や特別見学会と組み合わせることによって、1人でも多くの協議会会員が参加しやすいように工夫して毎年企画をまとめています。令和6年度の協議会総会は、昨年北摂歴史的建造物マップ作成時にご縁のあった島本町にご協力いただき、島本町立歴史文化資料館を総会会場としてお借りし、水無瀬神宮・燈心亭の見学会と桐浴邦夫先生の講演会を開催しました。大阪府文化財保護課神谷様も駆けつけてくださり、大阪府文化財保存活用地域計画の最新情報などをご報告いただきました。見学会参加者は47名、総会参加者は49名と、いつもにも増して多くの会員の方にご参加いただくことができました。



ヘリテージ委員会と協議会は、これからもお互いに協力し合って活動を続けていきたいと思っています。



最晩年の公立美術館に結実した小宇宙

八ヶ岳美術館 一九七九年

文・写真 松隈 洋「神奈川大学建築学専攻教授」

今年二〇一四年は、一九八四年十一月二六日に九三歳で亡くなった村野藤吾の没後四〇年の節目の年にあたる。長野県諏訪郡の原村に一九七九年に竣工した村立の八ヶ岳美術館では、そのことを記念する建築展「建築家村野藤吾と八ヶ岳美術館」が開催された（四月一日〜六月二日）。会期中は、建築史家の藤森照信や村野の孫二人による講演会、小泉悦夫館長が案内する建築ツアー、子供向けのクラフト教室「白いミニブロックで作ろう

ちいさな名建築・八ヶ岳美術館」など、さまざまな催しが開かれた。筆者もこれまでの経緯もあって講演を依頼され、新緑の美しい五月十一日、久方ぶりに現地を訪れることができた。最初に見学したのは二〇〇六年の夏のことだ。京都工芸繊維大学美術工芸資料館で第九回の村野展として二〇〇七年に開催した「村野藤吾・晩年の境地」展で、日本興業銀行本店（一九七四年）、箱根プリンスホテル（一九七八年）、新高輪プリンスホテル（一九八二年）



北側からの外観と清水多嘉示の彫刻



柔らかな光に包まれた展示室

などの大作の他に、小山敬三美術館（一九七五年）、谷村美術館（一九八三年）と共にこの美術館を取り上げ、図録の執筆担当者として現地調査に赴いたのである。その時に感じた、森の中にひっそりとたたずむ簡素で寡黙な不思議な形の外観と、それとは対照的な、包み込まれるような温かさと華やかさを醸し出す室内の印象は、変わることもなくそのままの姿で息づいていた。会場の一画では、敷地視察に訪れた村野の写真や、展示室の天井を覆うカーテンを吊った職人の残した作業メモなど、貴重な資料も展示された。また、

六歳。竣工後にまとめられた大部の改修記録の中で、赤坂離宮の初見の印象を次のように記している。

「構内に入り、ついで建物の内部に接すると、荒涼として一人歩きは薄気味悪い感じさえた。これが赤坂離宮に入った時の第一印象であった。（中略）改修の仕事が私にできるだろうかと自分の技量を疑ったくらいであった。（村野藤吾「改装設計の構想について」迎賓館編「迎賓館赤坂離宮改修記録」一九七七年）

それでも、村野には、遠く戦前の渡辺節の下での修行時代から長年にわたって蓄積してきた様式建築についての独自の視点と、設計手法に対する次のような自覚と自信があったに違いない。

「建築家とは職人だ、と思っているのです。（中略）といってもそれは、いわゆる名人芸というものはまたちよつと違います。私のいう職人とは、そのような芸に堪能になること、また堪能になるための努力の仕方です。（村野藤吾「わたくしの建築観」『建築年鑑』美術出版社一九六五年）

「あらゆる手段を通じて、あらゆる手段をもつて、どうしたら人間のために、人間の感覚に訴えてそれが生きられるような方向に持っていけるかどうか、これが私は私なりに今日までやってきました考え方の中心問題であるかと、かように私は考えます。（「村野・浦辺建築対談―ヒューマニズムの建築―」『建築雑誌』一九七八年三月号）

現存する老舗のフジカワ画廊（一九五三年）をはじめ、兵庫県立近代美術館（一九七〇年）、小山敬三美術館、谷村美術館とこの美術館の設計原図も並べられ、小規模ながら密度の高い展示会であり、主催者の思いが伝わってくる。それにしても、最晩年の八八歳の村野が完成させた、鉄筋コンクリート造の外壁の上にプレキャスト・コンクリート版のドーム屋根を載せた延床面積一、一五五㎡の華麗な小宇宙のような空間は、どのようにして生み出されたのだろうか。ここで注目しておきたいのは、この美術館を手がける直前に、村野が七年をかけて一九七四年に完成させた赤坂離宮（一九〇九年、設計／片山東熊）の迎賓館への改修という大仕事の存在だ。その改修案の検討に取りかかったのは一九六七年九月、同年に栄えある文化勲章を受章した村野はこの時七

ここで「建築とは職人だ」と断言したように、村野は、「芸」に「堪能になるための努力の仕方」を、赤坂離宮改修の設計作業においても、迷うことなく貫いていく。そのために、翌一九六八年五月から六月にかけて、ヴェルサイユ宮殿、バッキンガム宮殿、シェーンブルン宮殿、スウェーデンの王宮、ホワイトハウス、高級ホテルなど、欧米各国の事例をつぶさに視察し、主任建築家にも詳しく話

を聞いて、精力的に迎賓館として備えるべき建築の質を学び取っている。しかも、その合間に、「窓の仕事で不明な点が多いので、研究のために」「パリの裏町で窓カーテンの仕立工場を見学」するなど、現場と職人から吸収することも怠らなかつた。村野の根底にあったのは、「人間と建物」が「相互に生き合いながら結びついており、呼吸し合っているもの」だという確信であり、目指したのは、「迎賓館らしく軽やかでかつ愉快で上品なものにすること」だったのである。そして、迎賓館赤坂離宮改修という大仕事を無事に終えた後、八ヶ岳美術館に結実したのも、設計中に浦辺鎮太郎との誌上対談で語られた、次のような建築に対する変わらない考え方だった。

飽く
ことなく、
美しく。

“美しさ”への感動は儂く過ぎ去り、時が経つにつれて生じてしまう、慣れや既視感。そして人はまた、何かによって心を動かされる体験を欲し、変化を欲望し、新しいものを生み出すエネルギーを発現させてきました。一より美しいものを、より良いものを。

私たちユニオンは、ドアハンドルをはじめとする建築金物を“アートウェア”の領域へと磨き上げ、空間と人の心に語りかけてきました。

私たちを突き動かすもの、それは“美”への探究心です。飽くことなく追い求める美の先に、新しい感動が、新しい空間文化があると信じ、私たちは挑戦を続けています。



ARCHISM® SERIES新カタログ

www.artunion.co.jpよりお申し込みください。



株式会社ユニオン

[本社・大阪支店] 550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 tel 06-6532-3731

[東京支店] 135-0021 東京都江東区白河2-9-5 tel 03-3630-2811

[名古屋営業所] 454-0805 名古屋市中川区舟戸町3-20 tel 052-363-5221

UNION
ARTWARE



緑化広場「みやぐりん」からみたホテル全景。膜材によってホテルのファサード・デザインを構成している。



夜景鳥瞰。外装の膜材は演出照明を映写するスクリーンとしても機能し、賑やかな夜間景観を演出する。